

議会だより

<http://gikai.city.mitoyo.lg.jp/>

2020年
8月号
No.38



5月臨時会・6月定例会

- ②臨時会の概要
- ③定例会の概要
- ④一般質問
- ⑩委員会審査
- ⑫学校紹介

📷 わんぱくキッズ体操クラブ

■全会一致の議案

議案名等	議決結果
専決処分の承認を求めることについて（三豊市税条例等の一部改正）	原案承認
専決処分の承認を求めることについて（損害賠償額の決定及び和解）	原案承認
専決処分の承認を求めることについて（令和2年度三豊市一般会計補正予算（第1号））	原案承認
令和2年度三豊市一般会計補正予算（第2号）	原案可決

令和2年度5月補正予算

可決 承認

○一般会計 69億6,413万7千円増
 （うち国からの財源 67億5,156万1千円）
 補正後の予算 418億7,413万7千円

令和2年 第2回 臨時会の概要

【会期 5月1日】

今臨時会では、次のことが決まりました

- 専決処分 …………… 3件承認
 - 補正予算 …………… 1件可決
- この中から、議案をピックアップし、ご紹介いたします。

議案第52号

専決処分の承認を求めることについて（令和2年度三豊市一般会計補正予算（第1号））

承認

議案 Pick Up

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急対応に伴う予算を歳入歳出に2,533万円を追加する補正を専決処分したので、議会に承認を求められたもの。

- 介護施設、障がい者支援施設等で感染が確認された場合の緊急用マスクの購入および市内在住の妊婦の感染症対策としてマスクを配布するための購入に係る経費。
- 感染拡大の影響を勘案し、ひとり親世帯等の生活の安定を図るため、特別の給付措置として児童扶養手当受給者に対して、上乗せ支給を実施するための経費。

議案第53号

令和2年度三豊市一般会計補正予算（第2号）

可決

議案 Pick Up

新型コロナウイルス感染症により生じる諸課題に緊急に対応するため、歳入歳出それぞれ69億3,880万7千円を追加する補正予算が提案されたもの。

主な内容は次のとおり。

特別定額給付金事業

国の感染症緊急経済対策として、家計への支援を行うため、全市民に対して1人当たり10万円の給付金を給付する経費。

子育て世帯への臨時特別給付金事業

国の感染症緊急経済対策として、子育て世帯の生活を支援するため、児童手当を受給する世帯に1人当たり1万円を支給する経費。

新型コロナウイルス感染拡大防止協力金

市内の感染拡大防止と事業者の経営環境を支援するため、県が実施する休業要請等協力金に加え、市独自で協力金を交付する経費。

子育て世帯特別定額給付金事業

国の特別定額給付金とあわせて、市独自に子育て世帯の生活を支援するため、高校生以下の児童がいる世帯に、対象児童1人当たり2万円を支給する経費。

議 会 日 誌

14	10	7	29	26	25	22	19	18	15	12	8	5	1	28	27	26	22	19	13	12	1	30	27	24	22	11	10	4
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
議 会 常 任 委 員 会																												

今定例会では、主に次のことが決まりました

- 令和2年度補正予算 …………… 4件可決
- 条例に関する議案 …………… 6件可決
- その他市長提出議案 …………… 7件可決
- 請願 …………… 1件不採択

この中から、議案をピックアップし、ご紹介します。

令和2年 第2回 定例会の概要

【会期 6月8日～6月29日(22日間)】

議案
Pick Up

議案 第 54 号

令和2年度三豊市一般会計
補正予算(第3号)

可決

新型コロナウイルス感染症対策として、中小法人等の経営支援のため、前年の事業収入が100万円以上あり、令和2年3月から6月までのいずれかの月の収入が前年同月比30%、かつ10万円以上減少している市内事業者に対し、従業員数に応じ20万円から最大50万円までの給付金を支給するため、歳入歳出それぞれ2億8,000万円を追加する補正予算が提案されたもの。

議案
Pick Up

議案 第 55 号

令和2年度三豊市一般会計
補正予算(第4号)

可決

歳入歳出それぞれ7億7,726万2千円を追加する補正予算が提案されたもの。
主な内容は次のとおり。

学習ICT整備事業

国が示す「GIGAスクール構想」に基づき、ICTの活用によりすべての子どもたちの学びを保障できる環境の早期実現を目指し、1人1台端末の整備、高速大容量情報通信ネットワーク環境の整備等を実現するために必要な経費。

商工振興事業

地域内の消費を喚起することで、新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが減少した事業者への経営継続対策として、地域内消費喚起・経営継続応援プレミアム付商品券発行事業を実施するために必要な経費。

議案
Pick Up

議案 第 66 号

財産の取得について
(三豊市学校ICT機器電子黒板・プリンター等)

可決

小中学校において、ICT機器を活用した学習活動の充実を図るに当たり、今年度調達する電子黒板等の機器に係る売買契約を締結したため、三豊市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求められたもの。



議案
Pick Up

議案 第 70 号

令和2年度三豊市一般会計
補正予算(第5号)

可決

新型コロナウイルス感染症の影響により、ひとり親世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金の支給に必要な経費等、歳入歳出それぞれ9,559万1千円を追加する補正予算が提案されたもの。



※GIGAスクール構想…義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画



令和2年度6月補正予算

補正

○一般会計	11億5,285万3千円増
(うち国・県等からの財源 8億4,259万9千円)	
補正後の予算	430億2,699万円
○国民健康保険事業特別会計	280万円増
補正後の予算	84億5,980万円

国民健康保険における18歳以下(高校生以下)の均等割の減免を求める請願書の提出者
 三豊市革新懇(平和・民主・革新の日本をめざす三豊の会)
 代表世話人 篠丸憲三

請願第4号

請願



3年以上正副議長表彰 詫間政司	一般表彰 坂口晃一	20年以上議員表彰 西山彰人 浜口恭行	四国市議会議長会 特別表彰 川北善伴	10年以上議員表彰 金子辰男 岩田秀樹 詫間政司 川北善伴	15年以上議員表彰 坂口晃一	20年以上議員表彰 坂口晃一	特別表彰 全国市議会議長会	町議会議員歴の2分の1を勤続年数に通算	永年勤続表彰
--------------------	--------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------------------------	-------------------	-------------------	------------------	---------------------	--------

令和2年第2回(6月)定例会

■全会一致の議案

議案名等	議決結果
令和2年度三豊市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
令和2年度三豊市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
三豊市手数料条例の一部改正について	原案可決
三豊市税条例の一部改正について	原案可決
三豊市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
三豊市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
三豊市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
財産の取得について(三豊市情報システム機器)	原案可決
財産の取得について(三豊市本庁舎2階備品)	原案可決
財産の取得について(コミュニティバス)	原案可決
財産の取得について(三豊市学校ICT機器電子黒板・プリンター等)	原案可決
市道の路線廃止について	原案可決
市道の路線認定について(比地大連絡道線)	原案可決
市道の路線認定について(加茂北3号線)	原案可決
令和2年度三豊市一般会計補正予算(第5号)	原案可決

■賛否が分かれた議案

議案名等	議員名																						議決結果	
	1 近藤 武	2 高木 修	3 湯口 新	4 田中 達也	5 金子 辰男	6 浜口 恭行	7 詫間 政司	8 水本 真奈美	9 込山 文吉	10 市川 洋介	11 石井 塾三	12 岩田 秀樹	13 坂口 晃一	14 為広 員史	15 三宅 静雄	16 瀧本 文字	17 三木 秀樹	18 西山 彰人	19 丸戸 研二	20 川北 善伴	21 城中 利文	22 横山 強		
令和2年度三豊市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛19、反2)
三豊市人権尊重のまちづくり条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 (賛20、反1)
国民健康保険における18歳以下(高校生以下)の均等割の減免を求める請願書	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択 (賛5、反16)

※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 14番 為広 員史)



一般質問とは？

個々の議員が、市民の生活に関わる市政全般について、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を『一般質問』といいます。

6月定例会では、6月12日、15日の2日間、一般質問が行われました。12日には新型コロナウイルス感染症に関連する内容について、5人の議員が、15日には、その他のことについて、4人の議員が質問をしました。

質問順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。

QRコードを読み取ると、各議員の質問の様子が視聴できます。

令和2年第2回定例会会議録は8月下旬に掲載予定

[三豊市議会HP](#) ▶ [会議録検索システム](#) をクリック



新型コロナウイルス感染症の第2波に対する対策について

問 緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルス感染症の第2波が予想されている中、今後の三豊市の対策と、PCR検査場の計画を問う。

答 国の基本的対処方針に沿って、新しい生活様式の定着を前提に状況を抑えながら、感染拡大防止に努める。また感染症の検査体制については、三豊・観音寺市圏域の域外来・検査センター設置に向け、関係機関と既に協議を進めている。気を緩めることなくしっかりと取り組む。

新型コロナウイルス感染症に対応する経済対策について

問 新型コロナウイルス感染症の影響が、今後長引くと予想されている。三豊市としてさらなる経済対策は考えているのかを問う。

答 政府の支援策や事業者の状況把握の中で、できる限りの支援を検討する。また、生活困窮者が増えることが懸念される中、基準を検討するなど、市民の生活

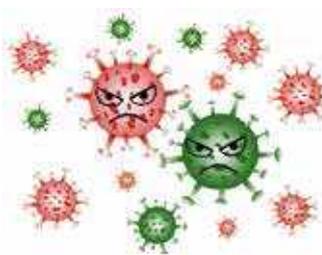
を守るための支援を検討して行く。
新型コロナウイルス感染症に対応する三豊市の学校授業について

問 三豊市として、今後学校内での感染予防策についての考えを問う。

答 感染症予防対策ガイドラインを作成している。教室では、空間を広げたり、座席の間隔を空けたりする工夫や、小まめに手洗いをする等の予防対策を徹底するよう指導していく。

問 5月11日、三豊市内でオンライン授業が行われたが、現状と課題を問う。

答 多くの児童生徒が非常に興味を持ち、楽しんで取り組んでいた。課題として、タブレットやモバイルL2エディターなどの機器が不足しているため、児童生徒全体に対象を広げられていない。オンライン授業に触れる機会を設けるよう検討を進めている。



※オンライン授業…インターネット上で行う遠隔授業



近藤 武
議員

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について

問 本市では新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金1億円、三豊市事業者等応援給付金事業1億7,412万5千円などへ充当されている。国の第2次補正分はどのような事業を考えているのか。

答 子育て世帯特別定額給付金や児童扶養手当受給者等緊急支援助給付金、事業者等応援給付金などの単独事業の全体事業費は、歳出予算ベースで6億2,000万円余りとなっている。まずはこの財源に充てることになっている。

新型コロナウイルス感染症に対する三豊市児童・生徒の心の健康やケアについて

問 コロナ対策の休校措置により、教育の格差も心配されている。学習内容の改変、学習スケジュール、オンライン教育等の取り組みで児童生徒たちは相当な負担に悩んでいる。児童生徒たちの心の健康を守るためには、どのような取り組みやケアをしていくのか。

答 必要に応じて家庭訪問を実施することや、教育相談の時間を設けたり、場合によってはカウンセラーやソーシャルワーカーによる専門家の相談を受けたりするなど、きめ細かく対応するよう学校を指導している。

新型コロナウイルス特別定額給付金について

問 新型コロナウイルス特別定額給付金について、現在妊娠されている母親、まだ生まれていない子供は給付対象にはなっていない。非常に気を遣っての出産である。新しい命にも給付金が必要ではないか。

答 さまざまな影響を受けている子育て世帯、収入の少ないひとり親家庭等への支援が早急に必要と判断した。本市としては今後長期化が予想される新型コロナウイルス感染症拡大の影響で困窮する方々や事業所などへの支援が最重要であると考え、施策を講じた。



国民健康保険税減免について



込山文吉
議員

問 コロナウイルス感染症の影響で前年より30%以上収入が減少した場合などを対象に国民健康保険税を減免する方針を示し、市町村への財政支援として365億円が計上された。条例改正についての考えを聞く。

答 厚生労働省の通知によると、保険税の減免については各保険者が条例または規約に基づき行うとされており、国の算定基準等に基づいた規則を制定すべく準備を進めている。

オンライン診療解禁について

問 ウイルスへの感染リスク回避への時限的特例措置でオンライン診療が解禁された。市内の多くの医療機関が登録しており市民への周知が大事ではないか。医療Maasの状況とオンライン診療導入の考えを聞く。

答 初診でのオンライン診療が時限的、特例的な対応として開始され、三豊市内では8医療機関が電話や情報通信機器を用いての診療実施が報告されている。市内

には離島・山間部があり、高齢者も多く医療提供体制の強化が課題である。医療Maasによる実証実験や栗島診療所でのタブレットを活用したオンライン診療の状況などを確認しながら、市民が安心して適切な医療を受けられる機会の確保に努めたい。

GIGAスクール構想について

問 三豊市の学校ネットワーク環境整備は無線LAN整備を終えている。今回のGIGAスクール構想を受け、再ネットワーク構築が必要になったが、ICT活用教育アドバイザー事務局の助言の活用は。

答 支援を受けつつ、過剰設計とならないことを前提として整備効果が発揮できる環境整備を進めたい。

その他の質問

- 家賃支援を含む事業継続や雇用維持対応について
- 医療機関、介護事業所支援について
- 災害に備えた避難所運営について



全教室に扇風機でなくエアコンの設置を



問 三豊市は学校再開にあたり、①夏季休業期間の短縮②授業時間の延長を明示し、暑い中授業を行う予定である。

夏の授業に使う教室に設置できないか。

答 特別教室の設置が遅れている。国の学校施設環境改善交付金を活用し、可能な限りの前倒しで実現したい。

身体的距離の確保は20人学級の実現で教員の加配が必要

問 「新しい生活様式」とし児童・生徒の間隔を空けるため20人程度のクラスで「長い時間を過ごす教室」を保障すべき。

答 学習の遅れを取り戻す授業時間の確保が課題で、国では補習のための学習指導員の派遣の計画をしている。

市内小中学校の1学級の児童・生徒数で25人を超えている学級は、小学校で42学級、中学校で49学級。県少人数指導加配教員小・中64人、市費講師小・中19人を各校

各学級に加配しても小学校で1人、中学校で7人の教員が不足する。



▲三野津中学校の授業風景

新型コロナウイルス感染症第2波を防ぐため積極的な検査へ移行を

問 PCR検査の方法も拡大し、検査センターの設置や維持に必要な予算を確保し、医師会などと協力し運営方法の決定が必要となる。

クラスターを防止するためには、これまで発生してきた施設等の職員・学校など優先的に検査を実施することが必要と考える。

答 第2波への備えとしてPCR検査体制の強化が必要と考えている。地域外来・検査センターの設置については、三豊・観音寺市圏域内での設置に向け、両市および医師会で協議を進めている。クラスターを防止するため、圏域内の検査体制の拡充に取り組みたい。

新型コロナウイルス第2波に備え、市役所に孤立化、失業を防ぐ相談総合窓口を



問 今新型コロナウイルスの猛威は、人類の歴史からして、ワクチン等

が出来るまで2波、3波が来ることは明らか。100年前、4年間世界を席卷した記録的「スペイン風邪」のパンデミックは、感染者5億人、死者数千万人。日本でも3波にわたり感染者全人口40%（2,300万人）、死者38万人と悲惨。

現在の1波の現状から2波対策を聞く。市内には、自民党政府が推進した全てが自己責任、全てが競争の新自由主義経済の被害者、生活困窮者等は、コロナ前から1万人前後いる。この人たちは補償なき自粛にまさに、生存の不安を抱えている。また、長期の自粛に孤立状態の人々が多数いた。そのために ①孤立化、休業での解雇、雇止めめに遭った人々の命を守るための相談総合窓口を本庁・支所につくる。②無権利状態の解消を目指すし、労働組合関係者等が支援できる相談所も同時につくる。③長期の自粛による家庭でのDV、

児童虐待等の対策強化に市の子育て世代包括支援センターの拡充が必要では。

答 収入の減少等で生活が厳しい方々の暮らし営みを守るため、指摘の第2波に備える。労働組合関係の支援場所設置は臨時的対応として検討。外出自粛や休校等の家庭での指摘の点は、相談支援体制強化を図っていく。

全ての学校等に瞬時に検温するサーモグラフィー(体温センサー)の設置を

問 国・県の根拠「無き」コロナ行動要綱をわが市教も指導するのではなく、安心が「共有でき」、先生方の加重負担を軽減するためにも、各学校、放課後クラブ等の各入口に瞬時に測れる体温センサー付き機器を配置しては。

答 指摘のサーモグラフィーの設置は非常に有効で、目に見えてストレス解消になるが、まずは検討の方向で。



▲体温計センサー付き機器

その他の質問

- PCRセンターの設置を
- 妊産婦の母性健康管理処置に関して



横山 強
議員



グラウンドデザイン構想失策について

問 グラウンドデザインの妄想計画に損失金3,370万円、市民の税金を無駄とし、損失責任として、市民に返還と、これまでの問題点を問う。

答 費用対効果は明確な成果がない状況であると認識している。この点は、横山議員のご指摘は真摯に受け止めさせていただき、今後の教訓にしたい。

問 ドック2基、解体費13億円の調査結果と内訳詳細だが、高額な解体費でも、今後計画に変更はないのか。

答 約13億円という撤去解体費にドックデザインを進めるのは現実的ではない。これまで部局間の連携がなかった点を反省し、横山議員からのご提案も含め最善の方法、方策を適切な時期に判断し、議会のご理解をいただきたい。

問 通告書1
6まで



▲ドック2基の解体費13億円、工事費が3割、諸経費が7割を指摘した問題場所

質問とした市民の税金を無駄遣いした政策に取り組んだ当時政策部長、現審議監が三豊市政に必要なのか。

答 市民の皆さまから納めていただく税金で成り立っていることを再認識するとともに、改め、常に効率的な財政運営を図る。審議監には横山議員からのご指摘に対し、謙虚に受け止め、私（市長）からの特命事項について、その責任者として引き続き職務遂行していただきたい。ご理解をお願いしたい。

問 讃岐造船跡地は、当初計画を破棄し、すべて周辺の公共施設の駐車場に整備活用するべきではないのか。

答 議員からのご提案も含め最善の方法、方策を適切な時期に判断し、議会の理解をいただきたい。

詫間庁舎周辺の整備について

問 庁舎周辺の解体整備と新設について問う。

答 詫間庁舎周辺の整備は、合併年度、7年度に建設を目標だが、できるだけ早い段階で使用開始を目指したい。



▲遅くとも令和6年度に解体、令和7年度に建築決定予定の詫間庁舎周辺整備



田中達也
議員



香川県ネット・ゲーム依存症対策条例に関する三豊市の対応について

同条例はその内容および制定過程について多くの問題点が指摘されている。「自粛警察」と呼ばれた社会風潮のように、誤った正義感の根拠とされてしまう懸念もあり、それらを踏まえた上で、影響を回避しつつ取り組んでいただくため質問する。

問 「市町の役割」についての対応

答 予防に取り組む一方で、依存症に陥った場合には、早期回復に向け保健・福祉・医療の専門家が連携して取り組むことが求められている。予防に関しては、「長時間利用」

問 障害のリスクという根拠のない条文に捉われず、さまざまな要因と子どもたちの多様性を考慮しつつ慎重に対策を講じていただきたい。

問 条例に関わる風評が及ぼす、市が推進する各種施策への影響について

答 直接的な影響は今のところない。ネット上の多くの意見から、影響がないとは考えられない。三豊市のA-やICTに対する先進的

な取り組みをPRし、風評被害を跳ね返してほしい。

問 「学校の責務」についての対応

答 子どもたちが自らの心身の健康を保つために、スマホやゲームとの付き合い方を自ら考え、ルールを身に付けていくよう指導していくことだと考える。

問 eスポーツ・プロゲーマーについてキャリア形成面からどのように捉えているか。

答 一つの職業として捉えることも可能であるものと考えている。

問 eスポーツは「三豊市スポーツ・文化芸術大会出場補助金」および「同激励金の交付対象となるか。

答 なり得る分野である。

問 当条例の問題点は、子どもたちの将来像にあるべき多様性を考慮しなかったこと。子どもたちの可能性の芽を摘むことのないようお願いしたい。



▲高校生が条例に対して訴訟を起こすためのクラウドファンディング

その他の質問

○GIGAスクール構想について

農家の大型特殊免許取得について



湯口 新
議員



問 法律の改正により農家の大型特殊免許取得が急務となっているが、取得できる農業大学や自動車学校は予約でいっぱいであるが困っていると聞く。対策は。

答 できるだけ多くの方が免許の取得ができるように、県や運転免許センター等の関係各所において大型特殊免許取得のためのさらなる機会の拡大をお願いしている必要があると考えている。

問 現状では運転免許センターでの技能試験（一発試験）を受けるしかない。三豊市内に技能試験用ホイールローダーの運転練習をできる場所と車両を用意し、そこに実際の技能試験同様のコースを設けることによって、技能試験を受ける農家の方のサポートをしてはどうか。

答 講習を受けることができず、直接免許センターでの技能試験を受ける



ホ合ではホイールローダーが使用されるため、試験では格率が低くなっている

けようとしている方々への支援も考えていく必要がある。JAや香川県などと連携し、何らかの支援が行えるよう検討を進めていく。

見えない貧困対策について

問 市内に見えない貧困に該当する生徒がいるとの情報があった。早急な対策が必要だと考えるが、市内の小中学校の対象生徒数は把握しているか。

答 具体的な把握はできていない。

問 把握ができていなければ対策はできない。何か対策はしているか。

答 日々の観察や家庭訪問などで把握しようとしている。

問 見えない貧困の定義はできているのか。

答 三豊市としてきちんとした定義をもって対応しているということにはまだ至っていない。

問 見えない貧困対策に給食を活用しては。

答 試験期間中の半日授業日や始業式、終業式の午前中で下校していた日に給食を提供することは可能である。見えない貧困の対象者等への食の支援はとても大切である。

その他の質問

○電子図書館の導入について

組織、機能の強化策を問う



坂口晃一
議員



問 公共施設の活用対策、2分の1処分方式での目的と計画性を示せ。市の財政、経済的な効果はどうか。

答 再配置決定施設は民間事業者等に貸付又は売却、跡地は行政利用なしの場合、普通財産とし売却処分する。

問 人口減少防止対策を問う。14年間で14%減少。加速度的な変化に対策は。現場を認識し、働く場所の確保はどのように。

答 外部人材を配置し、移住・定住促進事業の実施、支援強化する。

問 職員増員の目的は何か。正職、臨職合わせて1,712人。あまりにも多いが職員の能力を発揮できているか。税收の88%は人件費。

答 職員減少から3年間で40人増員、攻めの行政改革を目指す。市民第一主義の組織強化に向かう。

市立病院建設について

問 今回の総合防災マップで現場所での安全保障はできるか。

答 一部浸水が想定されるが、防災対策は講じる。

問 今回の場所の決定による、基盤強化費は。いまだ発表のない、設計、施工業者の問題点と保証期間公共施設については2年を最低10年間に延長を含む契約内容を示せ。

答 事業計画は施工業者が参画するECI方式で行う。現在はまだ確定していない。保証期間の改正はしない。設計、建築会社を十分に管理監督する。市の責任で行う。

問 永康病院の1年間の実績を問う。そして、問題点はないか。公立病院は過去5年間で50%が隠れ赤字が増加中だがどうか。

答 平成28年以來、外来1,655人減、入院7,645人減、医療スタッフの人員強化、オール個室病床等々で安定経営ができる。

問 今後、病院建設、事業費の変更はないか。過去3回変更あり。絶対にならないか。



※ECI方式…設計段階から施工者の技術力を、設計内容に反映させることで、コスト縮減や工期短縮を目的とした方式



委員会審査とは？

本会議で提案された案件について、より詳しく専門的に検討するため、所管の常任委員会へ審査を依頼します。このとき、所管委員会が、その議案について、審査することを『委員会審査』といいます。

6月定例会でも各常任委員会に議案の審査が依頼され、審査が行われ、その審査経過や審査結果が、本会議で報告されました。審査の内容を掲載します。

総務常任委員会

6月8・18日開催の総務常任委員会には、6議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第4号)中の関係部分

問 特別定額給付金振込手数料の385万円というのは、定額なのか、大口だから値引きはできないのか。

答 指定金融機関から、県下統一の申し出があり、それに基づき契約を行い、税込110円を積み上げた。

問 介護施設の共同送迎について、なぜ社会福祉協議会に委託するのか。

答 法律で社会福祉法人等に限定されているので、通所介護施設から、公的団体が担えばありがたいとの意見があり、進めている。

財産の取得について (情報システム機器)

問 議案は、機器の調達費用であるが、納入に係る役務費が別にあるのか。

答 納入後の設定業務などの役務費は、別契約になり、議案の金額は、備品の調達に係るものである。

財産の取得について (本庁舎2階備品)

問 「華美ないい備品が税金で入っている」ということにならないよ

うに、費用対効果の検証・報告はあるのか。

答 市民満足度の向上を目指し、市民目線で業務の遂行に取り組み、十分研究して、検証を報告したい。

財産の取得について (コミュニティバス)

問 なぜ36人乗りのバスでなければならぬのか。

答 乗降調査をしているが、29人乗りでは、積み残しがある。それで、今回も同じ車両を、購入したい。



▲ 現在詫間線を走行中の36人乗りバス

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。

市民建設常任委員会報告

6月19日開催の市民建設常任委員会には、8議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第4号)中の関係部分

問 新型コロナウイルスに対応する緊急対策事業を基金事業の中でやっているが、当初予算で予定していた基金事業に影響はないか。

答 新型コロナウイルス対策事業を始めるに当たり事業調整を行い、影響がないように進めている。

問 税務課の納税通知に係る委託料の増額補正について、委託先はどのような業者か。

答 電算センターが既に契約している専門業者に対応をお願いする。

三豊市人権尊重のまちづくり条例の制定について

自由討議の発議があり、「前文においてもっと多くの人権課題を明記すべきではないか」「議会でもっと議論し、市民の声を反映する機会をもつべきではないか」との意見が出された。

三豊市手数料条例の一部改正について

問 個人番号通知カードが再交付されなくなるということであるが、通知カードを紛失した時に、個人番号カードを取得する場合の取扱いはどのようになるのか。

答 市役所の窓口で、通知カードの紛失届を提出し、QRコードが記載された個人番号カード申請書で取得手続きをする。



三豊市税条例の一部改正について

問 今回の税条例の改正は、全て上位法の改正によるものというところから、え方でよいのか。

答 全て上位法の改正によるものである。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。

教育民生常任委員会

6月22日開催の教育民生常任委員会には6議案および、請願1件が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第4号)中の関係部分

問 児童扶養手当の補正だが、前回5月補正から615万円ほど増えている。この部分が公的年金を受けている方で、児童扶養手当を受けていない方の金額なのか。

答 前回と比べて増額となっている部分は、主に公的年金のために支給していなかった世帯2回分が増額となっている。

問 GIGAスクール構想で1人1台の端末および、環境整備ということだが、本市はいつ頃整備できるのか。小6、中3はいつ整備されるのか。

答 全国的に調達が難しい状況であるができるだけ早く、また納期の分割も想定し、小6、中3については年内の納期を目指して優先的に整える。



令和2年度一般会計補正予算(第5号)中の関係部分

問 新型コロナウイルス感染症予防対策として幼稚園や放課後児童クラブ、つどいの広場、子育て支援センター等児童福祉施設に空気清浄機の整備をするということだが、どのようなイメージか。

答 いろいろな種類があり、関係機関と協議して適正な機器を購入する予定である。

以上、各議案とも慎重な審査により原案どおり、可決した。

請願第4号国民健康保険における18歳以下(高校生以下)の均等割の減免を求める請願書

問 現状でこの減免を取り入れるとどうなるのか。

答 この減免を導入すると、減免部分は国・県から財源措置の対象とならず、財源が厳しい状況になり保険料が上がる可能性がある。

よって、本請願は、本市の財政事情から実現困難等であり、「不採択」とした。

学校紹介

仁尾中学校



これぞ仁尾中生

仁尾中学校では、「自信・信頼・信用」というスローガンを掲げています。このスローガンには、「一人一人が自分に自信を持ち、友だちのことを信頼し、先生や地域の人から信用される仁尾中生を目指そう」という意味が込められています。そんな仁尾中学校では、「黙働清掃」に力を入れて取り組んでいます。清



▲黙働清掃

掃前に黙想をし、心を落ち着かせてから清掃を始めます。清掃中は必ず無言で、何をすべきか考えながら取り組んでいます。この黙働清掃によって、我慢する心、発見する心、親切な心の3つの心を磨くことができ、学校だけでなく、自分の心もきれいになります。

また、仁尾中学校には「学習マナー10ヶ条」というものがあります。これは、より集中して授業に取り組めるようにと歴代の先輩たちから受け継がれてきたものです。授業

規程を確立するとともに、当たり前のように真剣に取り組めるように、全校生で実施しています。今年度は、新たな取り組みとして『生徒会信問』を発行することとなりました。新聞を通して、生徒会活動をしっかり理解してもらい、一人一人が自分で考えて行動し、協力することの大切さを学んでいけるようにしたいです。



サニオン

▲仁尾中学校マスコットキャラクター「サニオン」

前川宗介（3年生）
執行 生徒会長

今月の表紙



わんぱくキッズ体操クラブ

創立24周年を迎えた「わんぱくキッズ体操クラブ」。三豊市の小・中学生を中心に、マット運動やダンスの練習に励んでおり、地元のお祭りやイベントに参加して、日頃の練習の成果を披露しています。子どもたちはみんな仲が良く、卒業した高校生OB、OGも参加しています。毎週金曜日午後6時から、三豊市総合体育館で活動していますので、ぜひ見学に行ってください。（市川）

編集後記

緊急事態宣言が解除され、第2波が懸念される中、感染予防のためのマスク着用、3密の回避等、窮屈な思いで生活されていることと思っております。

例年なら、議会報告会を開催し、市民の皆さんの声を要約し、この「議会だより」に掲載していただきましたが、本年は、報告会を延期し、秋には状況を見ながら開催したいと

計画しています。広報委員会では、これまでと変わらず、読みやすい、親しみのある広報紙を目指し、研究を重ねてまいります。（石井）



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧いただけます

議会広報委員会

- 委員長 岩田 秀樹
- 副委員長 田中 達也
- 委員 石井 勢三
- 市川 洋介
- 水本 真奈美
- 高木 修
- 近藤 武



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。

発行・編集

三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp